

令和4年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成					
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。					
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A		
	②	授業改善	主体的な学びの実現に向けて授業改善に努めた。 (一斉教授型の授業スタイルからの脱却) ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、主体的に学びや個に応じた学びの推進に努めた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・教師アンケート	A	
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
	③	家庭学習の充実	授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	A	B
				・保護者アンケート	C	
				・児童生徒アンケート	C	
	④	読書活動の充実	読書に対する関心意欲を高め、読書習慣の定着に努めた。	・教師アンケート	A	B
				・保護者アンケート	C	
				・児童生徒アンケート	C	
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A
・保護者アンケート				A		
・児童生徒アンケート				A		
(成果と課題) ○タブレット端末を活用して予習や復習を行うなど、基礎・基本の徹底を心掛け、その成果がテスト等の結果にも表れた。 ○オンライン学習を継続的に行うことで、自ら対話しようという態度が身に付いてきた。また、それをきっかけに他校と校外学習を行い、同学年同士での交流も深まっている。 ○ICT機器、タブレット端末を活用した学力調査も行われ、本校児童は1学期に引き続き、県、市より高い点数であった。5教科(国・社・算・理・外)において10点以上平均点が高かった。 ○これまでの取組の成果が結果となって表れていると感じる。 ○学習成果の表現方法について、地域の行事と関連付けながら経験を積むことができた。 ●一人学級において、同学年との対話の時間を特定の教科でしか行うことができていない。 ●繰り返し取り組み、定着を図る学習(漢字の書き取りや正確な計算など)において課題を感じる。 ●児童の学習態度の向上に努め、よりよい学習環境を整えていく。						
(改善策等) ・各教科でオンライン交流等ができる機会を設け、短時間の交流から取り組んでいきたい。 ・定着を図る学習における課題については、地道に取り組むことと同時に、児童が興味を持って楽しく学習できるような教師側の手立ての充実も図っていききたい。 ・「思考し、判断し、表現する」ことができる場の設定を保障していくことを第一としていきたい。知識の習得だけに限らず、それらを出発点とするような学習を展開していきたい。						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間関係づくりや仲間づくりに努め、心の通う対人交流が深まってきた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見、解決に向けて組織的に取り組むとともに、地域・保護者に対して、「学校いじめ防止基本方針」の周知に努めた。	・教師アンケート	A	A
				・保護者アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・教師アンケート	A	
				・児童生徒アンケート	A	
				・保護者アンケート	A	
	③	基本的生活習慣の徹底	基本的生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
				・児童生徒アンケート	A	
				・保護者アンケート	A	

④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	C	C
		自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿	D	
<p>(成果と課題)</p> <p>○今学期も大きな問題がなく終えることができた。児童一人一人の個性を大切にしながら教育相談等の機会も大切にしていきたい。</p> <p>○本校児童全員が、一日も学校を休まず登校していることが、驚異的な数字である。今後も心身共に健やかに成長していけるよう、学校生活の充実を図りたい。</p> <p>○生徒指導上、大きな問題もなく今学期を終えることができた。今後も、教育相談等を充実させながら未然の防止を図っていきたい。</p> <p>●児童の中で、善悪の判断等に関しては十分身に付いていると考える。今後(中学校以降)を見据えて、ソーシャルスキルの習得について考えていく必要がある。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・機会を見て、現中学生からの聞き取り等も行っていきたい。また、ソーシャルスキルについて、特別活動などを中心に授業として取り組んでいくことも行う。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A B	A
	② 働きやすい環境づくり	業務改善に向けて自校の課題を洗い出し、慣例にとらわれることなく積極的に改善に努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート ・教師アンケート	A A	A A
	③ 他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○今学期も、教職員全体で協力することができた。また、SSSのサポートのおかげで多くの仕事をスムーズに行うことができ大変助かった。 ○今学期も、校長先生が様々な提案をし、働き方改革を推進してくれた。 ○今学期も、職員全体でお互いがカバーしながら管理することができた。 ○SSSの存在が大きかった。大変助かっている。 ●1学期同様、教員3人、養護教諭不在の中で、一人一人の校務分掌が多く、多岐にわたる。そのため、超過時間の減少が困難である。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・これまでと同様、前例に捉われず、省ける仕事は見直しを図っていく。それにより確保できた時間を、児童と向き合える時間にしていきたいと考える。 ・SSSにお願いできる仕事の選別を一層進め、お願いできる仕事内容はお願いし、働き方改革を図るようにする。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めるとともに、全職員の共通理解の下、学校運営協議会の活性化を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
	③ 来校・相談体制	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
<p>(成果と課題)</p> <p>○総合的な学習の時間・地域の方との交流会、日振島文化祭等、多くの場面で地域の方に協力していただき、大変ありがたかった。学習内容を他校にも紹介し、児童は、より自分の学校や島の良さにも気付くことができた。 ○日振島文化祭を通して、地域の方々と連携して取り組むことができた。極小規模校・離島のメリットの最大化を図ることができた。 ○運動会等の行事も多分に協力していただき、スムーズに運営することができた。 ○どの行事においても、地域の協力を本当にありがたく感じる。 ●地域学習だけでなく、家庭科などの授業でも地域の方に協力いただきたい場面はある。どのような場面をお願いしたいかを事前に確かめておきたい。 ●最大化は図れたが、他に協働して取り組めることはないか模索していきたい。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・年間計画を確認しながら、地域の方に御協力いただきたい場合は、公民館等と連絡を取り、お願いしていきたい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満